



佐和田 子供も大人も!新春映画上映会!
1月2日(火)3日(水)



カムバック本町!チャレンジ事業実行委員会主催の映画上映会が本町会館で開催され、多くの親子連れの方が映画に見入っていました。二日目の上映後には餅つきや、こども鬼太鼓が

元気いっぱいには舞い踊るなど、ゆっくりと流れるお正月の時間に、まつりのにぎやかな雰囲気があふれました。また、1月15日(月)には「野菊の如き君な」の上映に、50名を超える人が訪れ、悲しい恋愛物語に涙する方もいらっしゃいました。

本町会館では、毎月15日「昭和映画館」と称して、昭和の名画を上映しています。本町にお立ち寄りの際は、なつかしい昭和の雰囲気にひたってみるのはいかがでしょうか。



真野 第24回豊田元旦マラソン大会
~豊田地区~ 1月1日

豊田地区は、北に真野湾、南に丘陵地が広がる漁業・農業の集落です。

当日は、地元の諏訪神社で今年1年の健康祈願を行い、その後、選手は『マラソンコース』と『歩け歩けコース』に分かれて競技を開始しました。地域の小学生から最高齢80歳まで56人が参加し、それぞれに今年の目標を胸に秘めてスタートを切っていました。表彰式では参加者1人1人に認定証が渡され、健闘を称える温かい拍手が送られていました。今年も皆さん健康でありますように...



に認定証が渡され、健闘を称える温かい拍手が送られていました。今年も皆さん健康でありますように...

新穂 今年の飛躍を願って
~初市式~ 1月5日(金)

新穂塙上にある佐渡広域食品流通センターで新春恒例の「初市式」が行われました。正月休みも終わり久しぶりに活気の戻った市場では手締め、甘酒による乾杯のあと縁起物の宝船の競りで今年1年のスタートを切りました。

佐渡のたらい舟に摸した10艘の宝船には新鮮な果物や野菜などが山盛りにされ、「3万両、3万両」の威勢の良いかけ声で次々と競り落とされていきました。

去年は年末からの悪天候で物流がストップしたり、低温、長雨など天候に悩まされる1年でありました。

今年是一年始めから暖冬傾向となっていますが、この日は晴天とともに冬らしく引き締まった寒さとなり、関係者は佐渡産青果物の一層の飛躍を祈っていました。



畑野 白山神社 田遊び神事
1月3日(水)

畑野地区、白山神社で毎年恒例の田遊び神事が行われました。

この神事は大屋、隠居、田人役に扮した人々が、白山神社の拝殿内で苗代づくりから田植えまでを掛け声や田植え唄などを交えて滑稽に演じ、その年の豊作を祈願するものです。またその年の厄年の人が厄払いを兼ねて田人役を演じる事も特徴となっています。

また神事では起こし田などの際に拝殿前で焼きを入れた「餅の鍬」、田植えの際には苗に見立てて「ユズ葉」が使われます。田植えは車田式に行われ、植え終わるとこの神事にしか唄われない謡歌で締め神事の終了となります。



ユズ葉を使つての田植え



餅の鍬への焼き入れ

赤泊

おいしいもちができたよ

赤泊小学校 第32回 餅つき大会 1月14日(日)



よいしょ、よいしょ

よいしょと、児童たちが順番に小さな杵でもちをついていきます。この日用意されたもち米40キログラムは、きなこ餅と雑煮にしてあっという間に児童や保護者のお腹に入りました。最近では、家庭で臼と杵を使っている餅つきをするところは少なくなってきています。いつまでもこの行事を大切にしたいと思っています。



さすが杵つき。おいしそう！

新穂

15歳の門出～立志元服式～ 1月9日(火)

3学期最初の日、トキのむら元気館に緊張の面持ちの新穂中学校3年生48名が整列すると、来賓・関係者が見守る中で立志元服式が始まりました。あいさつ、居合道の披露と式は進み、続いてNPO法人しまみらい振興機構事務局長の井上由香さんから「15年後の未来を考えよう」というテーマで記念講演が行われました。「やりたいことを見つけその夢に向かってがんばって欲しい」と自身の経験を基にしたアドバイスに、生徒たちは何かを感じとったようでした。代表による夢、目標の発表の後、全員で決意を漢字で表した色紙を持って記念撮影が行われました。この立志元服式は、平成4年度から始まり今年でちょうど15回目となります。その年に生まれた赤ちゃんがこうして人生の節目を迎え、大人への一歩を踏み出しました。それぞれの夢の実現に向けて努力をすることを誓った48人の10年、15年後が楽しみです。



第5回

「佐渡医療シンポジウム」

1月13日(土)

が開催されました



「佐渡の医療をこれからどうするか」をテーマに、アミューズメント佐渡で第5回佐渡医療シンポジウムが開催され、約450名が参加しました。鈴木新潟県福祉保健部長は「新潟県健康福祉ビジョン」に基づいた健康づくり、医師確保対策をはじめとする総論的な医療施策について述べられました。次に、大竹助役が昨年11月に答申を受けた「佐渡市地域医療計画」の概要と医師不足の現状を述べ、離島のハンディをのりこえ、誰もが安心して住める医療体制整備の必要性を訴えました。服部佐渡総合病院長は島内医療の実情、課題や佐渡地域保健医療圏の基幹病院となる、新築予定の佐渡総合病院に向けての目標や機能面についての具体案について説明されました。3人のシンポジストによる講演後の総合討論では、医師確保対策、島内完結型の医療体制の整備、救急医療体制についての議論があり、会場からは医療情報の提供システムを要望する声などが上がっていました。

相川

早くも春一番のたより

みなさん、ご存じでしたか。佐渡金山の県道沿いに桜並木がありますが、約5本の木で昨年暮れから桜が咲き始め新しい年を迎えて満開となりました。

この桜は毎年この時期と4月の2回咲くそうです。

もう春だよと言わんばかりに寒空に元気よく咲いていました。





幼・保合同「餅つき会」!! 1月18日(木)

小木こどもセンターは、保育園・幼稚園・子育て支援センターが施設内に仲良く同居している複合施設です。総勢93名の園児達と、保護者会・地域のボランティアによる「餅つき会」を楽しみました。年々、電気もちつき機の普及により「臼と杵」を見る機会は少なくなりました。同センターでは、米を餅にして食用する日本人の知恵と、そので上がるまでの過程を園児達に体験させることを目的に、昔ながらの餅つきを行っています。餅をつく大人の様子に習い、子供たちも杵を持ってついたり、でき上がった餅を丸め、きなこをつけたり、雑煮にして食べました。“おかわり”の行列に並ぶ子供たちの笑顔が、幸せに満ち溢れていました。



どうが行われました 1月15日(月)

どうは、「とんど焼き」「さぎちょう」などと呼ばれる日本各地で昔から行われている火祭りです。竹を円錐状に立てわらを巻き、やぐらを作り、しめ縄や正月飾りや書初めなどを燃やします。その火で餅などを焼いて食べると、1年間病気にかからず、健康でいられると伝えられています。羽茂の天沢地区では15日の夜に羽茂川の河川敷で行われました。夜6時過ぎ、どうに火が入れられると、ゆっくりと白い煙をだしながら燃えていきました。参加した住民は火を囲み、神酒を片手に餅やイカなどを焼き、談笑しながら一年の無病息災を祈っていました。最近では子供がなくなり、どうを行う地域が減ってきましたが、昔から伝わる風習が今も生活に息づいていることを感じました。



三百年前の音色が 相川に響きわたる

国史跡に指定されている相川の八百屋町にある時鐘楼の鐘が、毎日朝7時と夕方5時(4月~9月までは夕方6時)になると響きわたります。まるで江戸時代にタイムスリップしたような気分になります。この鐘は1712年に鑄造され、明治初年ごろまで打ち続けられてきたものです。平成16年2月に解体修理完成を機に「相川時鐘を撞く会」が6名の有志により結成され、そのときからまた時を打ち続けています。

6名の有志の皆さん大変ご苦労様です。



ラーメン食べたい! 小学生がラーメン作り 1月21日(日)



赤泊総合文化館を会場に、小学生を対象にした公民館行事「ぐっとび!!遊ing」が開催され、参加した31人がラーメン作りに挑戦しました。麺を粉から作り、スープも自分たちで作ります。

麺を2mmずつに切る作業では、指を切るかも...という心配をよそに上手に包丁で切っていきます。麺を茹でる作業も、盛り付けも自分たちで行い、みんなでいただきます!なかなかコシの強い太麺が、温かい生姜醤油味のスープとよく合い、体がぼかぼかしてきました。「将来はラーメン屋をやろうかなあ」という声のでるほど完成度の高いものができ、みんな美味しそうに食べていました。



おかわりまだあるかな?



両津 第38回 両津バスケットボール大会 1月21日(日)

両津総合体育館と両津高校体育館を会場に、今年は、男子の部は25チームをレベルに応じて4つの部(1部～4部)に、女子の部は4チームが1つの部に分けられ、合計29チーム、約400名が参加しバスケットボール大会が行われました。



いざ試合が始まると、参加選手は勝利を手にしようと一生懸命プレーしながら、気持ちのいい汗を流していました。また、たまに飛び出す珍プレー、好プレーには会場から歓声が沸き起こっていました。結果、優勝は以下のように、男子1部は「湊5青年会」チームが3連覇、女子の部は「ニュードライ」チームが5連覇を見事に達成しました。



【男子の部優勝】 1部 湊5青年会 2部 消防署
3部 わき 4部 五五一会
【女子の部優勝】 ニュードライ

真野 長石余技展～長石地区～ 1月27日(土)～28日(日)

長石地区には、昨年結成20年を迎えた、絵画・写真などを趣味とする会員30人の『長石愛好会』があります。



この日、長石集落センターを会場に『長石余技展』が開かれました。

愛好会の方々はじめ「ひまわり会」など地区の皆さんの絵画・写真・書道・手芸・生花・苔玉などの作品が展示され、訪れた人は思い思いに見入っていました。

その中で、圧巻だったのは苔玉を配した『合掌づくりの集落』でした。会では昨年12月からお借りした納屋を作業場にして、ダンボールを壁に、ススキの穂にヘアスプレーを使い屋根に加工し、見事な合掌づくりの家が完成



しました。取組んだ10人がそれぞれに「家」と苔玉を持ち寄り、共同作品としてスケールの大きいものに仕上がりました。

また、「我楽苦多市」には不用品や野菜などが置かれ、買い求める姿がありました。

随想

ゆき夢飛行

No.9

世界遺産残念

佐渡市長 高野宏一郎

昨年11月末に県とともに申請したユネスコの世界遺産登録の暫定リスト入りについて1月23日に文化庁から発表されましたが、結果は残念ながら「継続審議」でした。

昨年8月、今までの申請方法(文化庁による選択方式)に変わって一斉コンペ方式とも言えます。うか、11月までの短期間にレポート提出によって今後の暫定リスト入りを決めることになり、2ヶ月という短い期間に申請作業を完成させるという難しい条件でした。

佐渡市は石見銀山に比べても、今まで遅れていた世界遺産登録を合併以来、伝統文化研究所準備室や金銀山室の世界遺産準備室昇格など人材や予算の集中や、昨年からは県からも専任スタッフの貼り付けなど強力な支援を得て、それなりに準備は進んでいましたが、残念ながら実現しませんでした。

今回の申請は急な公募で各地の準備が間に合わなかったこともあって、推定されている70～80はあるかといわれていた中で24の自治体が応募しての4候補が認められた訳です。当選は「富土山」「富岡製糸場」「長崎の教会群」「飛鳥・藤原の宮都」でした。佐渡は今回極めて僅差で落選と聞きましたが、今後1年をかけて、文化庁の指導を受け、再度チャレンジして、次回の成功を期待します。今後、市民の支援と盛り上がりも重要なポイントになりますのでよろしくお願い申し上げます。

* 戸籍の窓 *

12.22 ~ 1.22 届出

うぶごえ

地区名	大字名	氏名	保護者	たんじょう日
両津	両津夷	河本佳愛 (かなる)	順一	12.20
"	梅津	磯野日美 (ともみ)	征巳	12.20
"	真木	佐藤優人 (ゆうと)	幸男	12.24
"	原黒	藤井航希 (こうき)	健一	12.30
相川	下相川	中村優那 (ゆな)	和弘	12.31
"	相川大浦	中川一輝 (いっき)	翼	1. 5
"	相川三町目浜町	出崎聖也 (せいや)	充	1. 7
"	相川三町目浜町	出崎壘也 (るいや)	充	1. 7
"	相川下戸村	金井遼真 (りょうま)	俊幸	1.12
佐和田	市野沢	森井優 (ゆう)	誠	12.21
"	東大通	鎌田英二郎 (えいじろう)	昌孝	12.25
"	石田	武井弥汰 (やた)	美津雄	12.28
"	青野	井上栄龍音 (はると)	龍也	12.30
"	東大通	星野佑荣 (ゆうま)	賢二	1. 2
"	東大通	小野向輝 (こうき)	圭介	1. 8
"	中原	吉野星梨 (せり)	完	1.10
"	八幡	山本涼介 (りょうすけ)	照男	1.13
金井	金井新保	児玉聖吾 (しょうご)	顕範	12.25

金井	泉	平片順也 (じゅんや)	伸也	1.11
"	千種	徳永英将 (ひでまさ)	伸英	1.12
"	千種	中原悠治朗 (ゆうじろう)	純也	1.16
新穂	新穂北方	三浦希望 (のぞみ)	志広	12.26
"	新穂長畝	川上大次郎 (だいじろう)	友一	12.26
"	新穂正明寺	山口壘士 (るいと)	和樹	12.29
畑野	畑野	本間晃平 (こうへい)	靖史	12.15
"	畑野	齋藤依音 (いおん)	卓海	1. 2
"	畑野	浅野七海 (ななみ)	和幸	1. 7
真野	長石	飯森信三郎 (しんざぶろう)	英雄	12.15
"	真野新町	島倉桔平 (きつぺい)	亨	12.29
"	豊田	仲宗根明音 (みんと)	光浩	1. 2
"	豊田	本間萌々珈 (ももか)	藤一	1. 3
"	真野	幅野魁斗 (かいと)	正嗣	1. 5
小木	小木町	畠山涉 (わたる)	守	12.22
"	小木町	中野太智 (たいち)	照之	1.11
羽茂	羽茂本郷	秋場心桜 (みお)	友和	12.19
"	羽茂上山田	古林夢菜 (ゆな)	力	12.27
赤泊	徳和	渡部翔稀 (しょうき)	厚史	12.26

おくやみ

地区名	大字名	氏名	年齢	ご命日
両津	北松ヶ崎	岩城テル	98	12.22
"	梅津	中川壽	78	12.24
"	下横山	加藤靖彦	41	12.25
"	両津湊	北吉之	90	12.27
"	加茂歌代	彌久保清次	78	12.30
"	両津夷	吉田春生	85	12.30
"	春日	田那橋フミ	89	1. 2
"	春日	佐々木多一郎	87	1. 3
"	秋津	佐藤六榮	94	1. 4
"	吾潟	北カツ子	72	1. 7
"	加茂歌代	佐藤由光	60	1. 8
"	潟端	甲斐秀男	76	1. 8
"	両津湊	北壽	62	1.10
"	両尾	福島哲	82	1.13
"	潟端	甲斐シズエ	92	1.13
"	春日	市橋寛	71	1.14
"	両津湊	野口岩吉	88	1.16
"	梅津	齋藤秀男	81	1.17
"	赤玉	山本シズエ	84	1.19
相川	相川水金町	宇佐美卯一	81	11.24 (11.24)
"	米郷	石塚岩次	83	12.22
"	北片辺	古城喜代子	62	12.23
"	相川羽田村	逸見未子	75	12.28
"	関	橋本清治	71	12.30
"	橋	岩崎小市郎	79	1. 7
"	小田	本多アツ子	84	1. 8
"	稲鯨	岩崎カホル	88	1.10
"	北川内	山本敬二郎	82	1.15
"	相川大間	榎榮太郎	90	1.16
"	相川羽田村	穴山嘉壽馬	77	1.17
"	矢柄	坂下敬太郎	71	1.17
"	相川四町目浜町	森サヨ	86	1.20
佐和田	石田	名畑ヒデミ	73	12.23
"	石田	吉良泰彰	78	12.31
"	二宮	藤木秀次郎	81	1. 6
"	山田	横坂秀雄	80	1.12

金井	金井新保	和田キヨ	86	12.24
"	泉	北見芳重	85	1. 8
"	中興	猪股悌三郎	84	1.13
新穂	新穂瓜生屋	鶴間ミヨ	93	12.24
"	新穂青木	土屋紋右衛門	87	12.26
"	新穂瓜生屋	清水祐六郎	95	1. 8
畑野	寺田	田中ミヨシ	95	12.22
"	浜河内	清水勇雄	89	12.22
"	小倉	嘉井八千代	83	12.26
"	栗野江	齋藤一枝	89	1. 1
"	畑野	鶴間一夫	81	1.12
真野	大倉谷	秋山爲治	78	1. 1
"	豊田	小山ユリ子	57	1. 5
"	西三川	金子八ツ	94	1.11
"	真野新町	遠藤チツ	78	1.14
"	真野新町	相良謙一	85	1.17
小木	小木町	菊地カツ	84	12.22
"	小比叡	佐々木清	78	12.24
"	琴浦	高藤クマエ	79	12.26
"	小木町	桃井ヒナ子	93	1. 2
"	小木町	高津高志	74	1. 7
"	小木町	佐々木登	77	1. 7
"	琴浦	藤田イシ	77	1. 7
"	小木町	堀口小一郎	80	1.12
"	小木町	本間ミイ	93	1.16
"	小木町	末武綾子	84	1.18
"	小木町	菊地清平	78	1.19
羽茂	羽茂三瀬	笹山チエ子	79	12.25
"	羽茂滝平	駒形千代子	74	12.27
"	羽茂本郷	長尾俊	94	1. 9
"	羽茂大石	下野初枝	81	1.14
"	羽茂大橋	芳田夕子	90	1.19
"	羽茂本郷	北嶋啓	77	1.22
赤泊	下川茂	加藤チエ	77	12.30
"	下川茂	水澤平八郎	87	1. 3
"	赤泊	小山稔	84	1.13
"	徳和	菊池豊	76	1.15

掲載について都合の悪い場合は市民課戸籍係へお申し出ください。なお敬称は省略します。



ハロー皆さん。佐渡市のALTは現在9人、アメリカ、カナダ、スコットランドからやって来ました。みんな本国を離れて、日本という「外国」に住みながら異文化を体験しています。中でもモシロイのは、日本人のみなさんからよく聞かれる質問の内容です。どこへ行っても、いつも同じことを何回も質問されています。日本人の皆さんも外国に行けば、現地の人から見て外国人ですよ。帰国後は、あんなこと聞かれたとか、こんな質問をされたとか、ぼくたちと一緒に楽しいおしゃべりができるかもしれません。

これは想像なんですが、皆さんが海外に行くと、「カラテできる?」(あるいは柔道やカンフー)とか、「毎日アニメを見てるの?」っていうような質問を受けるんじゃないかなって思います。日本で暮らすばかり外国人が同じように「箸は使えますか?」とか、「寿司を食べられますか?」などとよく聞かれるようにね。

さて、ぼくたちの仕事は、英語を教えるということのほかにも国際化という役割も担っています。つまり、ぼくたちの国のことや国の文化を伝えながら、日本の皆さんから西洋人や西洋文化に関するたくさんの誤った観念をなくしてもらうように



することです。

そこで今月と来月のALT通信では、ぼくたち外国人が日本にいて、終始きまってどんな質問を受けているか、ここでちょっと紹介します。

Q 「箸は使えますか?」

A 西洋人のほとんどは、多かれ少なかれ箸を使った経験があります。上手に使いこなす人も結構いますね。ぼくたちの国にも、人気のあるアジア系料理のレストランが数多くあるので、そこでは箸を使うことも多いです。それに日本で一か月でも暮らしたことがあれば、けっこう上手になるもんです。慣れるのはそんな難しくありませんよ。



Q 「寿司を食べられますか?」

A 佐渡のALT全員は、この質問に「イエス!」の歓声が響きますよ。でも一般的には、やはり個人差があるんだ。魚が好きじゃない人は、おそらくあまり食べないだろうね。それでもぼくらの国の地元スーパーには、パックに入った寿司を売っていることもあるので、あまり違和感はないよね。でもね、なんてたって味は、佐渡の寿司のほうがだんぜんおいしいですよ!

Q 「アメリカって危くない?」

A そんなことはないですよ。まあ、大きな都市には、そんな所もないワケじゃないけど、そんな場所は世界中にどこにでもあるしね。東京や大阪にも、アブナイ所はあるでしょう。アメリカ国内のほとんどは安全だし、みんなフレンドリーなんだ。一度行ってみると分かると思うよ。(3月号に続く)

他にも何か質問があれば電子メールでこちらまでどうぞ。喜んでお答えしますよ。 SadoALTs@gmail.com

首都圏情報コーナー



環境省主催のトキ野生復帰シンポジウムが昨年12月17日(日)東京国際フォーラムを会場に行われました。基調講演は山岸哲・山階鳥類研究所長による「鳥類保全の方向」と、蘇雲山(そんさん)・環境文化創造研究所による「中国におけるトキの保護事業」で、パネラーは国レベルの幅広い分野から6人の専門家が意見を述べました。平成20年のトキ放鳥計画に沿って国民合意の世論を喚起したいという目的を見据えているからだろう。一般聴衆は、インターネットからも参加申し込みができ、定員240名の席が満席になりました。シンポジウムではトキ放鳥に前向きな意見が大勢を占めました。パネラーの一人、中村信州大教授は、50年前の自然環境に戻すことは困難であり、トキ野生復帰があっても、野生飼育といわれるものではないかと会場を引き締めました。終わりに、高野市長が、佐渡島には1万ヘクタールの田んぼがあり1%はトキとの共生に使える。ゴールは遠くにおいて日々努力したい」と現地からの決意を述べました。会場の踊り場には佐渡の深層水や観光パンフレット類を置いて、佐渡関係者がシンポジウムを側面から盛り上げました。

(佐渡市東京事務所)



伝統あるひな人形をごらんください

佐渡國相川 ひなまつり

2月24日(土)～3月18日(日) 午前10時～午後5時

江戸時代から近代にいたるまでの、埋もれていた伝統あるひな人形を、相川地区の40カ所で展示公開いたします。それぞれの時代の背景に思いをはせながら、ぶらり歩きをお楽しみください。

展示会場案内図は、佐渡観光協会相川支部に用意しております。

両津から会場までのシャトルバスを、また展示会場を結ぶシャトルタクシーを、3月3・4・17・18日(土・日)および「佐渡の日」の3月9日(金)～13日(火)の9日間、運行いたしますのでご利用ください。

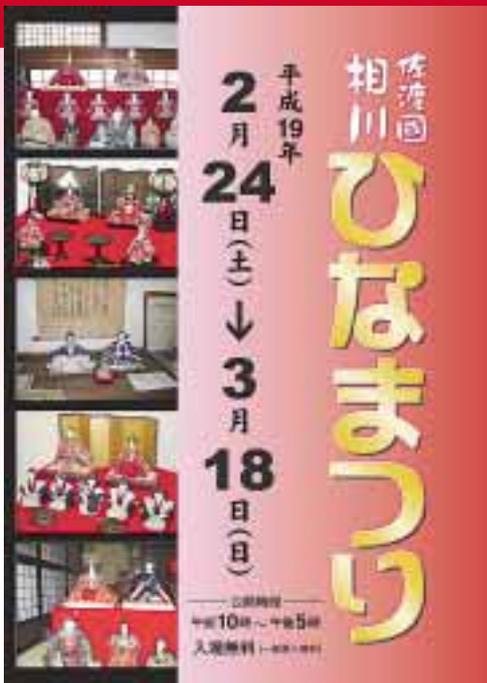
ひなまつり茶会も開催!

無料です

3月3日(土)10:00～15:00 ホテル万長

3月10日(土)10:00～15:00 佐渡奉行所(入館料が別途必要です。)

お問い合わせ 佐渡観光協会相川支部 ☎74-2220



頑張る 地方を応援 安倍首相と意見交換

平成19年度からスタートする「頑張る地方応援プログラム」について、安倍首相と全国6市町村長の意見交換が1月16日(月)に首相官邸で行われ、高野市長が出席しました。



このプログラムは、「魅力ある地方」をつくるため、地方独自の地域活性化策を実施し、出生率や農業産出額、若年者就業率、ごみ処理量などの指標で成果を上げた自治体に対して地方交付税の上乗せを予定しているものです。

高野市長は、トキの野生復帰にむけた環境保全や伝統文化の継承などに取り組み、「美しく、環境にやさしい島づくり」を進めていることを説明しました。

平成19年 佐渡市消防出初式 決意も新たに

新春恒例の「佐渡市消防出初式」が1月14日(日)、両津地区を会場に4消防団が一堂に会して開催されました。

消防職員・団員約750人、車両53台、船舶1隻が参加して市中行進・一斉放水・式典を行いました。そして、一年の安全祈願と住民の生命と財産を守り、安全で安心なまちづくりを目指すという消防の使命と責務の重要性を認識するとともに、消防職・団員の志気の高揚を目的とし決意を新たにしました。



市の魚
ブリ



市の鳥
トキ



市の木
アテビ



市の花
カンゾウ

市の面積855.25km²(平成18年10月1日) 市の海岸線280.4km(平成17年3月31日)

発行・編集 佐渡市役所 総務部秘書課広報広聴係 佐渡市千種232番地
TEL0259(63)3111・FAX0259(63)3300 ホームページアドレス <http://www.city.sado.niigata.jp>

発行日 平成19年2月15日